

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第1回公民館運営審議会
開 催 日 時	平成26年7月25日(金)午前10時~11時45分
開 催 場 所	所沢市役所7階 研修室
出 席 者 の 氏 名	山本直子、北田耕一、中村龍太郎、北田有司、藤野邦夫、内野幸雄、越阪部芳加、三原由紀子、本橋賢一、山崎修央、小笠原幹郎、倉持伸江
欠 席 者 の 氏 名	内田喜久男、梁瀬正明、佐藤一子
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	教育総務部次長・美甘寿規、中央公民館長・神谷明、小手指公民館長・島崎敬一、富岡公民館長・新井佳子、吾妻公民館長・丸山昌行、柳瀬公民館長・鈴木明彦、松井公民館長・須田静男、新所沢公民館長・倉富恵理子、三ヶ島公民館長・豊泉清喜、新所沢東公民館長・木村立彦、並木公民館長・吉田上
議 題	(1) 公民館事業・運営について ・ 地域の方々が公民館に関わってもらうために ・ 公民館の本来の業務とは (2) その他
会 議 資 料	
担 当 部 課 名	教育総務部社会教育課 浅野浩一課長、原初恵主査、粕谷紀夫主査 電話 04(2998)9242

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
次長	<p>1 開会</p> <p>社会教育課長の司会により開会した。</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>教育総務部次長が、校長会選出の委員が異動されたことに伴い、後任の山本委員に委嘱状を交付した。</p> <p>3 あいさつ</p> <p>本日は、第 1 回公民館運営審議会にご出席いただき、ありがとうございます。公民館は地域の方々のいろいろな場面に関わっておりまして、地域の方々とともに地域コミュニティの醸成に取り組んできたものと思います。</p> <p>今年度から、まちづくりセンター長が公民館長を兼任するという任命体制に変わりました。早くも 4 ヶ月が経過しましたが、本市の公民館は、かつてから地域の組織とともに、地域づくりを行ってきた歴史があります。まちづくりセンターが設置された際に、地域づくりに果たす公民館の役割に大きな期待が寄せられました。</p>
委員長	<p>地域とともに営まれている公民館活動を行う上で、地域の皆様からのご意見は、今後の公民館活動に大きな役割を果たすものと考えています。</p> <p>委員の皆様には、活発なご審議をお願いいたしまして、挨拶いたします。</p> <p>本日は、第 1 回公民館運営審議会にご出席いただき、ありがとうございます。まちづくりセンターがスタートしてから今年 4 月で 4 年目に入っていますので、職員の顔ぶれも少し変わってきています。そうした中、教育総務部次長から挨拶がありましたとおり、今年 4 月からセンター長が公民館長を兼任するという任命体制になっています。学びの館である公民館が更なる発展を遂げますように、委員の皆様には活発なご審議をお願いするとともに、平成 24 年 8 月に当審議会から提案した「提言」を実現するためにご努力いただけると有り難いです。</p>
司会	<p>ありがとうございました。それでは、最初に新しく委員を委嘱された山本直子委員より、ひとこと挨拶をお願いします。</p> <p>（山本委員からあいさつ）</p>
司会	<p>ありがとうございました。最初に今年度の職員体制についてご説明します。</p>

	<p>次長・委員長からも話がありましたように、この4月からまちづくりセンター長が公民館長を兼任しています。</p> <p>以前から、公民館運営審議会で公民館長に話しを聞いてもらっても決裁権者がセンター長では、この会議の意義が伝わるのかとご心配いただいていたことが解消されることになりました。委員さんの意見や地区の報告をしていただくことで、公民館長でもあるセンター長が他の地区の状況などを直接耳にして持ち帰り、それを各地区で生かしやすい状況になりました。</p> <p>では、公民館長、自己紹介をお願いします。</p> <p>(公民館長が自己紹介を行った。)</p> <p>(事務局が配付資料を確認した)</p>
司会	<p>配付資料につきまして、若干補足説明いたします。「平成25年度公民館事業報告集」の後ろに各種統計資料があります。利用人数の推移、利用状況、事業の実施状況などは、本日の議論の参考にしていただければと思います。</p> <p>また、「平成25年度版所沢市市民意識調査報告書」から抜粋した資料ですが、この中で地域への関心度、地域への協力意向が、地域コミュニティの醸成の目標指標になっています。しかしながら、なかなかこの数値が上がってきません。どうしたらこの数値を向上できるか、公民館としても考えていく必要があると考えています。この調査には年代別の統計もあります。以前の会議でも出された中間層の地域コミュニティへの関わりが薄いということも、実際の市民意識調査でも見えてきます。この辺りを含めて公民館がどんな取り組みができるのか、議論を進めていただければ、と思います。</p> <p>それではここから議事に入りますので、委員長に議長をお願いいたします。なお、本日の議題については公開で進めることになっていますので、よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>4 議事</p> <p>(1) 公民館事業・運営について</p> <p>それでは、本日は前回に引き続き「公民館事業・運営について」ということで、何点か皆さんからご意見をいただきたいと思います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今回の公民館の事業・運営について、前回の会議で発言していただいた中から、キーワードを探りまして、主に公民館職員の役割などについてアイデアを出していただき議論していただければ、と思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>地域の方々が気軽に公民館に関われるために、あるといい「しかけ」はどのようなものが考えられるでしょうか。</p> <p>まずは、「しかけ」についてのアイデアやご意見いただければと思います。事務局から説明がありました。皆さんのご意見をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは、地域の方が公民館に関わろうとするときに、あるといいと思われる「しかけ」についてですが、いかがでしょうか。</p> <p>各地区、地域住民のニーズや課題を把握してくれていると思います。この4月からセンター長が公民館長を兼務されましたが、これまでの公民館業務とコミュニティ推進業務の認識に変更は生じたのでしょうか。</p> <p>また、各地区の事業企画委員のメンバー構成について、まちづくりセンター組織になり、組織基準である学識経験者・学校関係者・社会教育関係者などの比率について、新たな組織になって検討されているかどうか、伺いたいのですが。</p>
<p>委員長 課長</p>	<p>2点質問いただいたが、事務局いかがでしょうか。</p> <p>1つ目の質問は、公民館業務とコミュニティ推進業務の区分けという意味でよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>質問の趣旨は、事業開催について、主催者として公民館長としての出席か、センター長としての出席か、まちづくりセンター長の立場、役割について確認したいということです。</p>
<p>課長</p>	<p>公民館事業と、コミュニティ推進事業は、地域づくりという目標は同じであるため、明確に区分されるものではありません。ただし、予算として、公民館運営費の報償費を使うという意味においては、公民館事業というものはあるかもしれません。現在、コミュニティ推進事業も公民館運営費の報償費を使っているため、広い意味でまちづくりセンターの事業であり、公民館の事業でもあるという言い方ができるかもしれません。そうした中で、センター長が、センター長として事業に関わるのか、公民館長として事業に関わるのか、これまでその区分けに苦労されていたのかなと思います。兼務になり、そうした苦労があるかどうか、センター長からお話いただきたいと思います。</p>
<p>館長</p>	<p>平成23年度当初から、市民部の職員が教育委員会の仕事を執行するという「補助執行」については、理解しづらい部分がありました。今年度からセンター長と公民館長が兼務になりましたが、公民館事業であろうとコミュニティ推進事業であろうと、私はまちづくりセンター長として関わっていると認識しています。</p> <p>また、センター長と公民館長との兼務は、社会教育法で公民館に館長を置くとあるので、センター長が当て職として兼務しているという認識でいます。私はそうした認識を職員にも持つように伝えていきます。</p>

課長	<p>もう1つの質問である「まちづくりセンター組織になった後の各地区の公民館事業企画委員会のメンバー構成」についてですが、以前各地区にあった公民館運営審議会を市で一元化した際、各地区に公民館運営審議会を引き継ぐ形で、そのような構成で組織されたと思います。まちづくり推進協議会が設立される中で、公民館事業企画委員会がどのように変化していくのかは、各地の状況によると思いますので、現行の公民館事業企画委員会が各地区でどのように運営されているのか、参考としてセンター長に様子を話してもらい、参考にさせていただけたらと思います。</p>
館長	<p>私の地区の公民館事業企画委員は14名です。委員構成は、8町会ある町会長、民生児童委員、体育協会支部長、母子愛育班長、青少年を守る会の地区連合会長、長生クラブ連合会長、地区内の学校長に入っています。</p> <p>この委員構成のあり方については、現時点では変更する予定はありません。ただし、まちづくり協議会が発足したときには検討の余地があるかもしれません。会議は年2回開催しています。開催時期は毎年6月と10月で、6月の会議では、前年度の事業報告と今年度の事業計画について報告しまして、ご意見をいただいています。10月の会議では、成人のつどいに向けた会議になっています。</p>
課長	<p>それでは、まちづくり推進協議会が組織されている地区の中からお願いします。</p>
館長	<p>当地区の公民館事業企画委員会は、まちづくり推進協議会が発足してからも、組織は変わっていません。今後もこのまま変わらないでいくものと考えています。昨年度「異世代間交流事業」を当委員会で提案されて、5回の会議をもって開催しました。県民の日で開催し、小学生からお年寄りまで70名の参加がありました。なお、当委員会の委員は、地区内の校長をはじめ8名で構成されています。</p>
課長	<p>他の地区の事業企画委員会につきましては、必要があれば整理して、議論していただける機会がありましたら、お伝えしたいと思います。</p>
委員長 委員	<p>地域の方が公民館に関わるための「しかけ」につきまして、他にありますか。</p> <p>配付された市民意識調査の資料をみますと、地域活動に参加している若い人が少ないのが分かります。どうしたらいいのかと考えてみると、公民館サークルに若い人向けのサークルが無いようなので、たとえば、若い人向けのダンスの教室を公民館で開催してはどうかと考えます。公民館利用者の高齢化が進み利用者が減っていくなら、今から、いずれ利用者になる、そうした若い人のサークル育成などを進めていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>公民館サークルのPRのために、公民館ごとにサークルのPR冊子を作り、新しくできたサークルの紹介・募集記事を公民館だよりとは別に掲載したり、</p>

委員	<p>若い人が興味を持って公民館に行くきっかけを作ってほしいと思います。そうすれば、公民館では将棋・料理・音楽などいろいろな団体が活動をしていると知ってもらえます。</p> <p>私が新所沢東公民館でいいと思っている事業は、所沢北高校チアダンス部が子どもにバトンを教える事業です。チアダンス部の部員が、子ども達の視線に合わせて教えてあげて、最後にお母さんの前でバトンを披露します。こうした事業を通して、将来バトンをやりたいと思う子どもも出てくると思います。</p> <p>こうした事業を公民館で立ち上げていけば、若い人が公民館に関わっていくようになるのではないかと思います。</p> <p>これまでこの審議会が意見交換で終わってしまいましたので、私はもう意見交換を重ねるのではなく、アクションを起こす時期だと考えています。</p> <p>そして、その案をどうするか。まず、人を集めてくることです。若年層に届いていないのであれば、若年層に届かせるための案を出す必要があります。たとえば、チラシは自分にとって役立つものでなければ、見向きもしてくれません。公民館をアピールするには、そうした情報発信をしないとイケません。</p> <p>また、1つの例としては、歯医者さんが1週間歯科医院をオープンハウスにしてアピールしているそうです。たとえば公民館もすべての部屋を開放して、学習室1号ではギター教室をやっていて体験もできるし、話も聞けるとか、そういう形でアピールしてみてもどうでしょうか。公民館に行くと自分が得をする、そうした商売っ気を出さないと人は集まらないと考えます。</p> <p>ただし、公民館の職員が少ないために、職員体制が厳しいという課題があれば、2つアイデアがあります。</p> <p>1つ目は、公民館相互で職員の派遣を行い、人員を補充し合うことです。</p> <p>2つ目は、公民館運営審議会委員を「実動部隊」とすること、これだけの人員が公民館事業に関わったら大きな人材投与になります。</p> <p>委員3年目になりますが、情報交換をする時期ではなく、もうアクションを起こす時期だと思います。センター長が館長兼務になったことですし、アクションを起こしましょう。何もしないで失敗するよりも、何かして失敗する方がいいと考えます。</p>
課長	<p>貴重なアイデアをいただきました。実現できるアイデアを出していただいて、できることを積み重ねていくことが必要です。館長も今のアイデアを聞いています。オープンハウスという考え方、職員相互派遣がどうできるのか、委員さんに活動の場にどう出ていただけるのか。アイデアとして貴重なご意見です。明日からすぐにどうするではないと思いますが、もう少し深めていくことが大事であると思います。また他の委員さんの話も聞かせていただきたいと思っています。</p>

委員	<p>公民館をオープンにするというのは、いいことであると思います。私の地区の公民館では、多くの登録サークルがありますが、自分たちの活動だけで終わってしまうことが多いようです。でも文化祭や運動会に関わってもらい発表するなど、オープンにすることで、自分たちも地域の中でこうした活動をしていると、見てもらう場と考えてもらえればいいのではないかと思います。</p> <p>また、たとえば20代にだけスポットを当てるのではなく、そうした世代に向かっている地域の小・中・高校生などの学生に、公民館でクラブ活動の発表をしてもらうなどできれば、関わりのきっかけになると思います。また、自分の子どもが関わると、子育て世代は熱心に動いてくれるので、公民館で親同士が繋がれる何かがあれば、それによって顔の見える付き合いができ、それを通して子育て世代の30・40代を公民館に引き込めたらと、それで成功している子ども会もあるので、それを公民館に生かしたらいいと私は考えています。</p>
委員長	<p>公民館長にお聞きしたいのですが、各館にある「公民館事業企画委員会」の他に、どのように地域の声を聞いて、公民館運営に反映させていますか。</p>
館長	<p>公民館事業企画委員会の他には、公民館事業の後にアンケートを取りまして、「どんな講座を求めているのか」を聞いています。そして、次の事業に生かしています。講座の企画は、公民館職員が主導するのではなく、地域の方、利用者の中から準備委員を募って意見を聞いて決めています。たとえば、子育て世代のお母さんを対象にした「スペシャルママ企画」では、日頃、お母さんが悩んでいる「片付け」や「性教育」をテーマに聞きたいという話が出されました。それらは、職員では決して出ないと思いましたが、母として悩んでいることを知り、拾うことは大事です。さらに同じスタッフや講師が固定しないように、準備スタッフを3班に分けてチームを作り循環させて、新しい発想、新しいニーズが出しやすいように工夫しています。</p> <p>また、先ほど委員さんから所沢北高校チアダンス部の部員さんが講師になって、子ども達にバトンを教える子ども教室の話がありました。こうした子ども教室には、親やおじいちゃん・おばあちゃんも来館してくれるので、世代間交流といった広がりがあると思います。</p>
館長	<p>私の地区は、地域内住民同士の繋がりが希薄な地域であると感じます。これは、利用者が必ずしも地域内の人達ではないこと、また、サークルの団体登録を見ても、市外の方も多いと感じます。</p> <p>地区の特徴として、若い世代が多いと感じています。そのため、子育て講座に力を入れています。お母さんの講座だけでなく、お父さんの講座、いわゆるイクメン講座も開催しています。お母さんは準備会が成立しますが、お父さんは日中仕事をして難しいため、公民館職員が企画していますが、講座終了後にお父さん同士が地域で繋がってもらおうための「しかけ」を考えながら実施し</p>

委員	<p>ています。</p> <p>また、通常利用者との接点が少ないので、登録の説明をかなり丁寧にしている、利用者説明会を今年度は4回開催しました。そして、団体登録の受付の時には、公民館の主旨を理解して利用してもらえるように、丁寧に説明するように心がけました。</p> <p>今まで会議で情報交換したことを、実際に試してみるとことはいいと思います。ただし、いきなりすべての公民館で実施するのではなく、まずモデル事業として実施してみるのがいいと思います。モデル事業ならたとえ失敗しても、それは実験なので、良しとしてきちんとこの審議会で検証していけばいいと思います。結果として、そこで得られた知見が生かされると思います。</p> <p>公民館がどういう場であるかということ、私たちは再構築しなければならないかもしれません。今までの社会教育・公民館というところから、思い切って邪道なことも含めて試してみないと実験にはならないかもしれません。ジレンマを感じることはありますが、試してみるのいいと思います。</p> <p>今まで出た意見から実際に開催できそうな事業を取り上げてみてはどうでしょうか。たとえば、広報のあり方、読んでもらえる魅力的な広報の講座です。民間で行っているもの、目新しいものを取り入れてみるのもいいのではないのでしょうか。また、地域に特化した資源や、広く浅い内容よりもギョッと絞ったテーマを設定した方が、かえって人を呼ぶと思います。ローカルな、ややマニアックなテーマを対象にしてみてもいいかもしれません。もちろん今までこうした講座を実施していたとは思いますが、改めてこのように思いました。</p> <p>次に、公民館で行っている地域の人材活用ですが、一定程度市民や団体に任せもいいのではないかと思います。</p> <p>最後に、以前博物館関係の方と話をしたところ、あるテーマに関して興味を持つ人達が少人数で集まり、自由に活動できる施設の利用率が上がっていると聞いたことがあります。公民館とどう違うのか、どう繋いでいけるのか考えていくことも必要かと思いました。</p>
委員長 課長	<p>欠席された委員から何か届いていませんか。</p> <p>本日、欠席の委員から、ご意見を預っています。「民間の学習提供事業者との協働」についてという内容で、公民館がリーダーシップを発揮し、社会教育関係団体や教育産業などの教育・学習機関とネットワークを構築してはどうか、というご意見です。</p> <p>これは、地域の生涯学習や社会教育に関する教育産業をはじめ、講座等を実施している生涯学習支援ボランティアやNPO法人など、公民館以外の学習機会の提供事業者との連携を深め、各事業者の特色を生かした講座等を促進することで、幅広く社会教育を実践できるのではないかと、というご意見でした。</p>

委員長	<p>それでは、次の議題に移ります。「公民館の本来の業務とは」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>先ほど同様、前回の会議で出されたキーワードから、今度は公民館が貸し館業務に偏らず、公民館らしい社会教育業務を行なっていくために、どのようなことに力を入れていけばよいと思われるか、アイデアやご意見をいただき、それらについて議論していただければと思います。</p>
委員長	<p>事務局から説明がありました。次は、これからの公民館事業の進め方などについてということですが、いかがでしょうか、皆さんのご意見ををお願いします。</p>
委員	<p>私の地区には、まちづくりセンター協力会があります。この協力会には年間100万円程の予算があり、事業を実施していますが、この協力会の一部の役職は、実際には公民館職員に行ってもらっているため、名前だけの役職になっています。また体育祭の買い物もすべて公民館職員に行ってもらっているので、こうした状況を変えていかないと、公民館職員は本来の業務ができないと思います。団体は団体で運営していくべきですし、こういった現実の問題を一步一步解決していく必要があると思います。</p>
委員	<p>文部科学省が出している公民館のパンフレットに、『公民館は住民同士が「集う・学ぶ・結ぶ」ことを促し、人づくり、地域づくりに貢献しています』とあります。3拍子のうちの「集う」が、今の公民館にはないと思います。まずそのことを考えないと、そのあとのことを考えてもしかたがないと思います。つまり、土俵が無いのに、システムを構築してもしかたないのではないのでしょうか。</p> <p>では、集うためにはどうしたらいいのか。先ほど私は提案をしました。これだけの委員さんがいるので、どうやったら公民館に集うことができるのか。各委員が自分の経験から意見を出しあって議論していく必要があると思います。どうやったら公民館に人が集うことができるのか、この1点だけでいいので議論していきましょう。</p>
委員	<p>地域で最も人が集まる公民館が関わる事業を考えますと、文化祭・体育祭があります。実はまちづくり推進協議会ができたことで、それをどう絡めていくか、会の努力で参加してくれる人を呼ぶということを実現できるか考えたとき、新規事業ですと、予算や人員を確保することは至難の業なので、文化祭なら利用者だけではなく地域の人も巻き込んで、より多くの人に公民館に足を向けてもらえると思います。</p> <p>運動会なら文化祭とは違うジャンルの人達の繋がりがあと思うので、たとえばチラシに実施する事業と一緒に掲載してもらおうなど、文化祭・体育祭とコラボレーションするのがいいと思います。</p>
委員	<p>今の意見に賛成です。既存の事業の鏝落としをしながら、磨きをかけて新し</p>

委員	<p>い人が入れる「しかけ」を作っていけばいいと思います。</p> <p>自分が携わっている事業の中で考えますと、体育祭が最も人が集まると思います。しかしながら、体育祭の準備会議の中で、体育祭を無くしたらいいのではないかという意見も出て、人が集まって交流できる場がどんどん無くなってしまふなど感じています。また、最近婦人会も高齢化のために、長生クラブに人が移ってしまふて、婦人会が無くなってきています。このため、婦人会が中心となって開催してきた盆踊りも無くなってきているという傾向もあります。また、3つの町内会では盆踊りをする場所もなくなってしまいそうな状況があるのですが、せめて人が集まる行事は続けたいと考えていますので、小学校の校庭を借りて、地区全体合同の盆踊りができたら人が集まれ、交流できるのではないかと考えています。</p> <p>先ほどオープンハウスというキーワードが出ましたが、中央地区では中央公民館の文化祭に全地区参加して、発表の場として会場に来た人達に見てもらふ機会を作っています。地域の方同士の交流の場にもなっています。地域の人が集まりやすい行事が減っているので、14地区集まればいいなと、先ほど出されたモデル事業に取り組むということも大事だと思います。</p>
委員	<p>今、盆踊りの場所がないというお話がありましたが、私の町内会でも盆踊りの場所の変更が必要になり、小学校の校庭と体育館を借りてしています。体育館があるので、雨を気にしなくても開催できるというメリットがあります。やはり、いずれはまとまって開催せざるを得ない同じような悩みがあると知りました。</p>
委員	<p>体育祭開催の合図の花火や祭りに向けた太鼓の練習の音がうるさいと言われてしまうため、人集め・行事開催など地域として大変になってきました。</p>
委員	<p>地域の問題ではなく、どんどんそのような場所がなくなってきていることは、市全体の問題だと思います。</p> <p>昨日、ちょうど地区の中学校と話をしたのですが、中学校も地域との関わり合いが大切であると考えて、地域に協力していこうとしているそうです。たとえば、明日の祭りでも中学校の野球部が、机を運ぶなど地域活動の準備を手伝ってくれます。また、敬老会で中学校の吹奏楽部が協力しようとの話もいただきました。現在、地区にある高校・幼稚園にも地域の協力について話をしているところです。高齢化が進んでいるので、自分達だけで全部行うことが難しくなっています。神輿を担ぐ子どもがいなくなったからとリヤカーで回ってしまうより、お互いに助け合えると思います。学校に関わってもらえば、繋がるし行事も続けていけて、地域と学校の両方にメリットがあると考えています。</p>
委員	<p>以前、私の地区でも全体行事として体育祭がありましたが、現在ではなくな</p>

委員	<p>ってしまいました。人を集めるという話ですが、先ほどお話があったように、既存の事業に入っていく方がやりやすいと思います。</p> <p>また松井地区でも子ども神輿があり、今年は多く参加してくれました。20年も続き定着したということもあるかもしれませんが、地区にこだわらず他の地区の子どもも参加していいというスタイルにしたからかもしれません。そういったことも子どものためにもなるかもしれないし、参考にいただければと思います。私も地区全体で取り組む行事を復活させたいです。難しいかもしれませんが、できるからと自分たちでみんなやってしまうのはダメなのではないか、未来に繋げていくこと、若い人たちを集めること、育てることも大切ではないかと思います。</p> <p>前教育長は、学校を「地域立の学校にきなさい」という話をしていました。どういうことかといいますと、「校長が変われば、学校も変わる」としてしまおうと、今まで学校が30～40年もかけて地域の中で築いてきたものが無くなってしまいます。こうならないために、地域を大事にきなさいという話をしていました。同じ地区内なら仲間だという気持ちを皆が持っていれば、それがどこかでにじみ出て、繋がれると思います。</p>
委員長	<p>公民館業務が充実すれば地域コミュニティの醸成に一役担うことにもなると思いますが、公民館長いかがでしょうか。また、センター長と公民館長を兼任してやりやすくなった点、やりづらくなった点はいかがでしょうか。</p>
館長	<p>事務室を一体化していますし、4月からセンター長と公民館長を兼任していますが、特に支障を感じていません。兼任して良かった点は、これまでは同じ館の中に長が2人いて、指示系統がはっきりしていませんでした。このことが解消されたことです。</p>
館長	<p>同様です。センター長と公民館長の兼任になって特に支障を感じていませんし、指示系統がはっきりして良かったと思います。</p> <p>私の地区では、3年かけてまちづくり協議会の設立に至りました。設立までに20回ほど検討会を開催しまして、この会議でも話が出ましたが、サークル利用者と地域との関係があまり深くないことについても話が出ました。コミュニティの醸成は、協議会で解決できる問題であると思っています。</p> <p>協議会が設立されてからも、地域に欠かせないのは、学校との関わりです。学校との関わりでいえば、盆踊り、運動会、防災訓練があります。学校が地域に入ること、子どもが行事に参加しやすくなるだけでなく、指揮系統がしっかりしているのも、地域だけでは体制を組めないことができるようになります。今後も学校と地域が一体となって活動したいと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。これまで出されたご意見を踏まえまして、高齢者、若い方の地域との関わり方について、改めてご意見をいただきたいと思いま</p>

委員	<p>す。</p> <p>最初に、これまであまり地域活動に関わってこなかった高齢者の方が、もっと地域に関わることができるアイデアがありましたら、ご意見をお願いします。</p> <p>私の地区でも、集まってもらうことが大事だと活動に関して検討しています。また、子どもに関してはできるだけ祭りには太鼓で参加してもらう、公園の掃除に参加してもらうようにしており、公園の掃除をしたときは、落ち葉は学校の農園に入れていきます。また、学校の先生が地域のお祭りで屋台を出したり、学校の文化祭に地域の人達がお手伝いをしたりが実現できています。まちづくり協議会ができ、センター長が館長兼務になり、新たな地域の展開ができるのではないかと感じています。</p> <p>高齢者は生きがいがあるから、高齢者は行事に参加していると考えます。そうした中で、すでに町会と民生委員とも協力して、高齢者が地域で「絆」をつくってもらえるよう進めています。</p>
委員長	<p>次に、若い方、働いている方、子育て中の方、学生など青年層が地域活動に関わるアイデアなどありましたらお願いします。若い方の関わり方について意見はありますか。人材発掘ということで、役員を公募するという規約を入れた松井地区はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私の地区のまちづくり協議会では、公募で1名役員に入ってもらいました。地域活動に関わってもらうためには、私個人の考えですが、公民館を利用しているサークルはたくさんあるので、公民館を利用しているという恩恵に対して、たとえばその人達に環境美化デーに参加してもらうよう声をかけるなど、恩返しではないですが、できる範囲の協力をしてもらってはどうかと考えています。今まで会社人間だったが地域に恩返ししたいと思っている人もいますから。</p>
委員長	<p>最後に、その他に公運審として、公民館の進め方全般について、改めてご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回の審議会では、議事が2つありましたが、次回の審議会では、今回の議事のまとめから各委員さんが必ず1案持ってきてきましょう。</p>
委員長	<p>本日はいろいろご意見いただきました。では、松井地区でまちづくり推進協議会の設立準備を進めているとおっしゃっていましたが、その後はいかがですか。</p>
委員	<p>今年の7月5日にまちづくり協議会の設立総会を行いました。まちづくり協議会として、地区の既存の事業をそのまま継続しますが、松井地区は航空発祥の地、トトロの里なので、松井らしさ、その特色を生かして歴史文化遺産を保全することを事業計画に入れました。当協議会では、29の団体を5つの部会</p>

<p>委員長</p> <p>事務局 委員長</p>	<p>に振り分けて組織しました。元々地域の繋がりが強い地区なので、新しい住民も一員として、以前からあったものを深めていこうとしています。</p> <p>では他になければ、これで議事は終了いたします。</p> <p>議事の「その他」はありますか。</p> <p>特にありません。</p> <p>本日は、いろいろなご意見や提案を聞くことができました。</p> <p>今年度からセンター長が公民館館長兼務となり、運営体制が変わったことで、いい変化が出てくると思います。</p> <p>皆さんには、公民館運営審議会の委員として、各公民館を見守っていただき、ご意見などを是非お願いします。また、それらを次回の会議にも持ち寄っていただき、すべての公民館が元気になってもらえる方向性を議論していただきたいと思います。</p> <p>それでは、本日の議題は、これで終了とします。</p> <p>議事と報告事項が終了しましたので、進行を事務局に戻します。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>新しく人が「集う」ということのアイデア、そのための職員体制、地域の方との関わり方、学校との関わり方のアイデアをいただきました。公民館運営審議会は年3回ありますが、これらを深めていくことで、11月中には次回の会議を開催させていただきたいと思います。次回では、本日提案いただいた「集う」ということが、大人数が集うということなのか、新たに関わりを持っていなかった方をターゲットにした集いなのか、そのための場所、方法を含めて、今日の議論を深めていただきたいと思っております。</p>
<p>司会</p>	<p>6 閉会</p> <p>以上をもちまして、第1回公民館運営協議会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>